

2026 年度 早稲田大学大学院文学研究科 入学試験問題
【修士課程】 一般外国語 朝鮮語 ※解答は別紙（横・縦 書）

I. 下記の朝鮮語の文を日本語に訳しなさい。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

II. 下記の日本語の文を朝鮮語に訳しなさい。（表記には全てハングルを用いること）
（出典：中央日報/中央日報日本語版 2025.06.05 12:00 からの抜粋）

李在明政府が発足し、3年余り続いてきた「青瓦台開放」が岐路に立たされた。運営・管理を担当してきた文化体育観光部傘下の青瓦台財団側は当分予約観覧を続ける方針だが、中止は時間の問題だ。李大統領が候補時代から「早く青瓦台を修理し、その（修理）期間だけ〔竜山に〕滞在して青瓦台に行く」と繰り返してきただけに、早ければ3～4カ月以内に青瓦台への復帰が予想される。これに先立って3日、地上波テレビ局3社の出口調査でも回答者の58.2%が第21代大統領執務室として青瓦台を選んだ。

青瓦台周辺の住民たちの反応は分かれている。西村に住む崔さん（44）は「青瓦台付近のデモがさらに激しくなるのではないかと心配だ」と話した。また別の住民の金さん（56）は「これまで観光客が集まり、家の周りにタバコの吸殻が積まれたりしたが、大統領の執務室が戻ってくると街がきれいになると思う」と期待を示した。

今後、大統領室が世宗に移れば、青瓦台の使い道が再び話題になりかねない。李大統領は10大公約の6番目の課題として「世宗行政首都の完成」を提案し、大統領の世宗執務室を任期内に建設すると述べた。京畿大学のアン・チャンモ教授（建築学）は、「そうなれば、青瓦台は再び市民に返すことができるのではないかとし、「長期的な計画まで考慮し、執務室をめぐる第3の解決策が作られることを願う」と述べた。

一方、青瓦台財団側は「別途の指針がないため」、以前のように4週間後まで観覧予約を受け付けており、週末の常設公演も進めていると4日、明らかにした。財団によると、3日だけで2万620人が訪れるなど、2022年5月10日の初開放以来、累積観覧客は783万人余りに達している。

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——